

東京教区時報

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

第1012号
2006年11月5日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

◇11月の代禱・信施奉献先
▽笹島キリスト教連絡会のため
▽障害者週間のため▽滝乃川学園のため▽人権活動を支える主日(11月最終主日)

《奉献先から》

笹島キリスト教連絡会

笹島キリスト教連絡会(以下「笹キ連」と略)は、現在、名古屋市周辺にて野宿を強いられる人々の生命と人権を守るために、殊にキリスト教会各派や市民団体などに協力を呼びかけながら、主に以下のような支援活動を行なっています。

①事件に巻き込まれ、逮捕・拘束、或いは起訴された野宿生活者に対する獄中支援と裁判支援
②野宿生活者の生活相談や生

活支援③2001年に笹キ連が母体となって設立した「NP Oささしま共生会」による炊き出し等の活動に対する財政支援他
(笹キ連事務局長 司祭野村潔)

◇聖信受領

10月22日 聖ルカ礼拝堂で
▽山中陽子▽緑川節子(聖ルカ)

▽ランチタイムコンサート
聖パウロ 11月10日(金) 12時
20分、オルガン 佐藤雅枝
「訂正」 前号第3面なかほか
「明洞大聖堂」は「ソウル大聖堂」に。また第4面「予定欄」中「11月5日・主教巡回・聖マリア」は、主教渡米日程と重なって「12日」に順延。

今週・来週の予定

11月5日～18日

- 5(日) 聖霊降臨後第2主日
- 10(金) 職員会議
広報委員会
下町G牧師協(聖ルカ)
- 11(土) 雨宮講座:聖書の学び
(アンデレホール)
- 12(日) 聖霊降臨後第3主日
主教巡回 聖マリア教会
- 13(月) 財政委員会
- 14(火) 銀座朝拝会
常置委員会
- 15(水) 教役者レクイエム
(主教座)
人権委員会(聖バルナバ)
環状G牧師協議会(立教)
- 17(金) 竹内講座:教会改革の足跡
- 18(土) 西原講座:聖公会の信仰と生活(神田キリスト)

(この用紙は再生紙を使っています)

青年のころ「恵み」という言葉が嫌いだ。持てる者が、持てない者へプレゼントをすること。また、満たされている者が日々の生活に感謝する時の言葉としか理解できていなかった。とても「恵みに生かされて」と実感できる心境ではなかった。

——《恵みに生かされて》——

恵みという言葉

聖職候補生 高瀬 祐二

来、私なりに神さまの働きを、最も理解させてくれる聖句のひとつとなった。

40歳を過ぎて自分の子どもを授かった時、「恵」という漢字を息子の名前にぜひ入れたいと思いついた。妻に相談した。あまり男性に「恵」という漢字を含む名前がないので、反対されるかもと心配したが、妻は快諾してくれた。めでたく、息子は「恵太」と名

ある時、ローマの信徒への手紙5章20節、パウロが書き記した「罪が増したところには、恵みはなおいっそう満ちあふれました。この聖句に出会った時、私の理解していた「恵み」を、はるかに超えた世界が、そこにあることに気づかされた。今でも、この聖句の意味がわかっていない。今でも、この聖句の意味がわかっていない。今でも、この聖句の意味がわかっていない。今でも、この聖句の意味がわかっていない。

づけられた。「恵」を理解できなかった私の罪滅ぼしが、無責任にも息子に託されることとなった。息子は生まれた時から文字通り「恵に生きる」はめになった。まだ息子は7歳、私の魂胆を知る由もなく、無邪気に育っている。

(滝乃川学園勤務)

正義と平和協議会運営 委員会報告(10月18日)

*韓国スタダーツアー(オウルリムの旅)の報告Ⅱ総括的な振り返りのほか、日韓の関係数紙への報告稿、参加者集会・韓国語学習会の開催、次回ツアーの可能性など種々の協議も。

*次号協議会便りの発行準備(11月20日頃の発行予定)。

*来年度の活動計画(教区会提出計画書)の検討。

▽立教女学院聖マーガレット礼拝堂と聖マーガレット教会の合同礼拝が11月12日(日)10時半から同院聖マーガレット礼拝堂で。説教は佐々木道人司祭で合同聖歌隊が奉唱し、七五三幼児祝福式も。

▽北大合唱団東京OB会クラーククラブによる「マーガレットコンサート」が、11月12日(日)13時半から聖マーガレット教会で催される。無料。ペビィンターサービスあり。照会電話Ⅱ03(3334)2812。

▽「日本聖公会聖歌集」がよいよ11月10日に発刊される。現「古今聖歌集」発刊から47年ぶりの改訂版で、775曲などを収録。A5判(表紙色は青と赤)、3千円。使用開始時期は各教会・礼拝堂・学校ごとに委ねられている。

▽植田教区主教は植松首座主教代理で、アメリカ聖公会総裁主教(キャサリン・J・シヨリ主教)就任式へ参列するため渡米される(11月3日～9日)。

《今、この教会では…》

練馬聖カプリエル教会

昨年春の教区会の決議を受け、当教会でも他教区との交流の取組みが始まりました。対象は東北教区で当面は教会を特定せず加藤主教と連絡を取りながら、教区全体を視野に入れて考えていく方針です。3月には加藤主教をお呼びして講演と交流会、7月には牧師と信徒4名の東北教区訪問と交流、10月には同教区から立教学院に向中の長谷川清純司祭の聖餐式共同司式と説教、交流会を行いました。11月のバザーでは6教会から協力を得て東北教区コーナーを開設します。まだまだ手探りの段階ですが、決議の精神を生かす交流を目指します。(松平謙次)

滝乃川学園へ高まる関心

映画・音楽・TVつづく

社会福祉法人滝乃川学園がマスコミに登場する機会がふえている。一九二八年に建てられた本館の保存修復事業の呼びかけなど学園の尽力によるところが多いが、学園や教育・社会福祉への関心が問い求められている現れでもあろう。

創立者を描いたドキュメンタリー映画「無名の人」石井筆子の生涯」は、教区フェスティバルで鑑賞されたのを始め、製作上映委員会による配給で全国各地で上映され、話題を呼んでいる。11月29・30日には、くにたち市民芸術小ホールでも。

ほぼ時を同じくして、劇映画「筆子・その愛」が現代。ぶろだく

しよんにより企画製作され、すでにクランクアップ。監督に山田火砂子、主演に常盤貴子・市川笑也、ナレーター市原悦子。後援・賛同人にも多くの施設・団体が名を連ねるなど、一般公開が待たれている。お披露目ともなる有料試写会は11月18日(土)10時・13時半の2回、銀座ヤマハホールで。製作協力費を含む前売チケット千二百円(当日券なし)は同園福祉文化室が窓口。電話042(572)1228。

また当日は併行して、同園の主催で「本館修復チャリティー」『天使のピアノ』へのいざない「デュオコンサート」が四谷・紀尾井ホールで催される。14時開演なので当日は、銀座か

ら四谷へ急ぐ人もおられよう(映画&コンサート)。青柳いづみこ(Pf)・大谷康子(Vn)。S席六千円・A席四千円、前記福祉文化室扱い。

さらに、NHK総合テレビの「人気歴史番組」その時歴史が動いた」でも、放映企画(12月20日・水)が進められている。

保存修復事業を支える募金活動は「本館を支える会」(前出電話)を通し、いまでも呼びかけを実施中。

▽日本聖公会正義と平和委員会(長・谷昌二主教)は、10月20日、「北朝鮮の核実験に抗議しともに平和を求める声明」を出した。各教会・礼拝堂で貼付または配付される。